

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [牛久市立奥野小学校] 担当教諭名 [小更 宏] (6年1組 38名)

相手国・地域 [リトアニア]

海外学校名 [Klaipėdos Simono Dacho progimnazija] 担当教諭名 [Saule Likpetriene / Vilma Notvaisiene]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SOSプロジェクト	38
	外国語活動	自己紹介をしよう	4
	図画工作	壁画を書こう	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	豊かで壁のない世界 A wonderful world without walls
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	壁とは、人間と自然の壁、人同士の壁などを示し、これらの壁をなくすために互いに思いやり、理解し、協力し合うことで、みんなで本当の意味で豊かな世界を実現させていきたいというメッセージを壁画に込めました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
SDGs について一人一人が自分のこととして感じられるようになり、課題に対して主体的に考え行動しようとする力が身についてきた。また、協働で学習を進めていく中で、一つのゴールを目指して他者を理解し協力していく力やコミュニケーションスキルである英語への関心が高まった。そして、実際の海外の学校と交流することで、世界への関心が高まった。	活動を通して課題と感じたことは、交流時の言語である。小学校では、英語が堪能な大人にサポートを入れてもらっても、話合いがなかなか双方向性のものにならなかった。また、活動が深まるような十分な時間の確保が難しかった。(形式を整えるくらいの時間は取れるが、学習の深まりや深化を図れるような時間の確保が難しかった。)

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 交流を続けていくうちに相手国への関心や交流言語である英語に対する関心が高まった。 SDGs を学習していくうちに、そこにあげられている目標を身近なものと感じるようになり、世界で起こっている課題に対しても SDGs の視点で見られるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちとともに SDGs の学習を進めていく中で、この活動の大切さを感じ、自分だけでなく周囲の教師にも広げていく必要性を感じるようになった。 相手国であるリトアニアや世界に対して関心が高まり、様々な場面で相手国であるリトアニアを意識するようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の動画作成 相手国について調べる。 スカイプでの交流(出会い) リトアニアからの留学生の話聴く 	<ul style="list-style-type: none"> 最初に自己紹介ビデオを作成しているときは、少し消極的な児童もみられたが、スカイプを通して実際に交流した後は、どの児童も活動に主体的に参加するようになってきた。 	外国語4 総合4
共有 テーマ学習	7月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関する学習。 SDGsの学習を通して、課題意識をもち、活動のテーマについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初はあまりSDGsのターゲットを自分のものとしてとらえている子が少なかったが、学習を通して17の目標が自分たちにも大きく関わっていることに気づく児童が出てきた。 	総合10
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 電子フォーラムを通してテーマについて協議し、活動に込めたい自分たちのメッセージの確認。 壁画のデザインの検討(共同で) 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画に込める思いを考え、協議していく中で個々の課題意識が明確になってきた。 リトアニアから送られてきたビデオを見て衝撃を受け、環境問題について関心が高まった児童がいた。 	総合10 図工2
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の下書き作成 日本側の作成様子を相手国に伝える。(スカイプ) 駐日大使の訪問時にスカイプで交流 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画作成の様子などをスカイプを使って互いに見合うことで、相手国の生徒を協働で活動を行う仲間として意識できるようになった。 リトアニア大使に自分たちの活動を見てもらい認めもらうことで自分たちの活動の価値を再認識していた。 	図工6 総合10
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> 活動の振り返りとまとめ 自己評価 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した作品を前にかかわった児童の表情は喜びにあふれていた。 自分たちの活動に対して、大半の子が満足し、今後自分が取り組んでいきたいことなどを明確に書いている児童もみられた。 	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手国を調べる段階で、「日本とは～な所が違うね。どうしてかな」という子供たちのつぶやきから、相手国だけでなく自国のことも調べている児童が多くみられた。
異文化を理解する力	5	相手国の文化、風習、宗教等を受容的に受け入れている児童の姿を数多くみることができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	長期の休みの時などを利用して、新聞や雑誌等から気になるテーマを収集し、それに対して自分なりの考察を加えている児童がみられた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	協働学習を進めていく中で、自分の思いを相手に伝えるための工夫をする子が出てきた。また、進んで英語で表現しようとしていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	レポートや学習のノート等に世界で起きている問題について、自分の考えをもとに批評を加えていた。
主体的に考え行動する力	4	学習や交流の中で、ふれたこと・感じたことに対して、自分なりの感想をもち自分ができることを考え、実行するための道筋を考えていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	壁画作成の場面で、子供たちがそれぞれの長所を生かし、分担して協力しながら絵を描くことができた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分の活動に対して、活動の内容や相手のこともふまえて「SOSプロジェクト」というプロジェクト名を自分たちでつけることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	年間を通しての自分の活動への取り組み方等について、客観的に振り返り評価し、課題となった点についてはその後の活動に生かそうとしていた。